

# 1 大阪大空襲 京橋駅爆撃被災者慰霊碑 他



## 基本情報

所 在 : J R京橋駅 南口  
 住 所 : 大阪府大阪市都島区片町2-3  
 (J R京橋駅 南口 徒歩1分)  
 連絡先 : 妙見閣寺 06-4254-8115  
 建 立 者 : 慰霊碑…森本栄一郎  
 仏 像…城東ライオンズクラブ  
 納経塔…有志一同  
 建 立 年 : 慰霊碑…昭和22年8月14日  
 仏 像…昭和59年  
 納経塔…昭和58年2月

## 碑 文

### 【仏像下】

釈迦牟尼仏尊像

### 【納経塔下】

納経塔

### 【慰霊碑下】

南無阿彌陀佛

## 説 明 文

大阪大空襲  
京橋駅爆撃被災者慰霊碑

太平洋戦争終戦前日の昭和二十年八月十四日、大阪は最後の  
大空襲を受けた。B29戦略爆撃機は特に大阪城内の大阪陸軍造  
兵廠に対し、集中攻撃を加えたが、その際、流れ弾の一トン爆弾  
が四発、京橋駅に落ちた。うち一発が多数の乗客が避難していた  
片町線ホームに高架上の城東線(現、環状線)を、突き抜けて落ち  
たため、まさに断末魔の叫びが飛び交う生き地獄そのものであ  
ったという。判明している被爆犠牲者は二百十名であるが、他に無  
縁仏となったみ霊は数え切れなく、五百名とも、六百名とも言わ  
れている。

当時、地獄のような惨状を目撃した大東市の森本栄一郎氏が、  
あまりの悲惨さに胸を痛め、その霊を弔おうと昭和二十二年  
八月十四日、自費で建立された慰霊碑である。

納経塔

戦後、被爆犠牲者を弔う法要が毎年八月慰霊碑の前で鴨野・  
妙見閣寺によって行われているが、三十七回忌を機に写経による  
供養をと、遺族及び、当時駅での体験者、大阪大空襲の体験を  
語る会々員他多数の市民からの基金、協力を得て建立した納経  
塔である。

昭和五十八年二月  
国鉄京橋駅長

# 2 京橋駅空襲被災者慰霊祭



## 開催概要 (平成23年度)

歳 事 名 : 京橋駅空襲被災者慰霊祭  
 会 場 : 大阪大空襲 京橋駅爆撃被災者慰霊碑 前  
 (J R京橋駅 南口 徒歩1分)  
 日 時 : 平成23年8月14日(日) ※例年8月14日開催  
 参 列 者 数 : 約250人  
 連 絡 先 : 妙見閣寺 06-4254-8115

## 概 要

この京橋駅であった悲惨な出来事をあなたは知っていますか？  
うだるような暑さでした。気温は既に36度を超えていました。この悲惨な出来事は、昭和20年8月14日、思い起こせば太平洋戦争終戦の前日に起きたのです。

その日は連合軍が、大阪市内へ最後となる爆撃を、数十機のB29爆撃機によって実施しました。まず連合軍は大阪城内の陸軍造兵廠を爆撃しました。そして午後12時30分ごろ、天王寺行き電車と大阪行き電車が京橋駅に進入したちょうどその時、京橋駅の大駅ホーム東寄り、城東線から交差している片町線、そして駅西側にあった防空壕付近へ、続けて数個の1トン爆弾が落とされたのです。

当時の国鉄京橋駅付近は、一瞬のうちに焦土と化しました。駅舎は吹き飛び、線路はアメのように曲がり、付近の民家や工場も大打撃を受けました。瓦礫の山に埋まる死体、幼子を抱きかかえるようにして無言の死を遂げた母子の悲惨な姿、あちらこちらに飛び散る手足や肉片、両足を切断されて必死に助けを求める者、身体が土砂の下敷きとなり顔だけ出して絶叫する者、まさに断末魔の叫びが飛び交う生き地獄そのものとなりました。

救助活動も思うようにはなりません。多くの人が土砂に埋まっていますが、掘り返すにも道具がありません。地面から出ている体の一部を手がかりに、人の手で引き上げることぐらいしか出来ませんでした。土砂や壁、そして大きな石の下敷きになった人々から、「助けてくれ、助けてくれ」という悲痛な声、「辛抱してくれよ」と声をかけるだけで、為す術もなく多数の方がそのまま息絶えました。

焼け付く熱さの中で、大きな石と石の間から、やっとの思いで首をのぞかせ、張り裂けんばりの声で「水をくれ」と叫ぶ人。なんとか水を探してストローで差し上げたその時、「おいしかった、ありがとう」と言うなり、ことごとく死んでしまった人もいました。周囲の至るところで、助けてくれと懇願する悲痛なうめき声が止むことはなかったのです。

この惨事によってお亡くなりになられた方々は二百数十名とされていますが、遺体はおろか、遺品すら発見できなかったご家族の方々は数知れず、実際の被爆犠牲者は500名とも600名とも言われています。

昭和22年に、この京橋駅に慰霊塔が建立され、そして昭和30年から毎年、爆撃のあった8月14日に、慰霊祭の法要がとめられてきました。しかし慰霊塔の事は知っていても、犠牲となった方々の無念の思いを心して、積極的に手を合わせる人は稀です。このままではいつしか時代の流れに風化して、ついには忘れられてしまう事でしょう。

この京橋駅で何百人の方々方が惨殺されたこの恐ろしい事実を、忘却の彼方におしやる事はどうしても避けなければなりません。何故ならば、その事だけがお亡くなりになられた方々の無念の心を鎮める方法だからです。私たちが過去の歴史を語り継ぎ、その過ちの大きさを未来平和の為の架け橋とする事だけが、お亡くなりになられた方々への本当の供養なのです。

京橋駅慰霊祭世話人会(事務局 妙見閣寺)

### 3 平和よ永遠なれ



#### 基本情報

所 在： J R京橋駅 南口ロータリー  
 住 所： 大阪府大阪市都島区片町2-3  
 (J R京橋駅 南口 徒歩1分)  
 連 絡 先： 大阪城東ライオンズクラブ 06-6180-3206  
 建 立 者： 大阪城東ライオンズクラブ  
 建 立 年： 昭和59年8月1日

#### 碑 文

平和よ永遠なれ

大阪城東ライオンズクラブ之建

CN20周年記念

昭和59年8月1日

#### 経 緯

大阪城東ライオンズクラブでは1984年 CN(設立)20周年の記念事業として、京橋駅南口正面に「平和よ永遠なれ」を設置した。このモニュメントは当時医師として被災者の治療にあたった会員の提言を受け、爆撃で亡くなられた方々の慰霊と平和を祈念するため建てられたものといわれている。

出典：大阪城東ライオンズクラブ 社会奉仕活動資料より

# 4 祈平和碑



## 基本情報

所 在：内代公園  
 住 所：大阪府大阪市都島区内代町3  
 (京阪電車 関目駅 徒歩16分)  
 連絡先：都合により記載せず  
 建 立 者：内代町世話人一同  
 建 立 年：昭和53年6月

## 碑 文

【表】

祈平和

【裏】

昭和二十年大東亜戦争も日に、戦局不利となり再三にわたり本土  
 上空に敵機<sup>機</sup>の来襲を見るにいたりました。内代町も同年六月七日折  
 からの大空襲に一瞬にして火の海となり降りそぐ焼夷弾、機銃掃  
 射によって老若男女、幼児に至る六十有余名が悲惨な犠牲となられ  
 ました。全部この地で茶毘に付され遺骨は雲觀寺、一心寺へと納め  
 られましたが無縁の遺骨は散りゝに埋没、一時供養塔を建立供養  
 を営みましたが公園整備で取り除かれ、その後四十九年二月靈の願  
 いに依り町内世話人相はかり同年六月供養塔を建て年ことの法要を  
 営み五十二年六月五日三十三回忌も無事回向、供養塔に變り世界の  
 平和を祈り茲に碑を建立する

昭和五十三年六月吉日

内代町世話人一同  
 聖護院門跡光徹九十六書

5 護讚地藏尊



基本情報

所在：大長寺  
住所：大阪府大阪市都島区中野町2-1-14  
(JR大阪城北詰駅 徒歩9分)  
連絡先：都合により記載せず  
建立者：大長寺  
建立年：昭和31年8月

碑文

【表】

護讚地藏尊

【側面】

願以此功德 平等施一切  
同發菩提心 往生安樂國

昭和卅一年八月盆中

【裏】

昭和廿年八月一四日空襲  
爲 百九十五  
戰災死者 靈

説明文

「護讚地藏尊」由来

昭和二十年（一九四五年）八月十四日 大阪第三次空襲の際国鉄京橋駅及近辺に於て多勢の人々が爆死した遺体を当寺鐘堂の焼跡に運び火葬に付した遺骨の内無縁の者百九十五体を住職拾い集めて土中に葬り鎮魂の願いをこめて回向の上昭和三十一年八月護讚地藏菩薩を奉祀して無縁諸霊の永代供養のため併せて永遠の平和を祈念するもの也

# 6 港区戦災死者有縁無縁精霊碑



## 基本情報

所 在： 港区弁天3丁目 町工場街  
 住 所： 大阪府大阪市港区弁天3-6-22  
 (JR・市営地下鉄 弁天町駅、市営地下鉄 朝潮橋駅 徒歩11分)  
 連絡先： 港区戦災死者慰霊碑威張り地蔵供養会 個人であり記載せず  
 建立年： 昭和34年6月

## 碑 文

### 【表】

昭和二十年三月十三日 六月一日

港区戦災死者有縁無縁精霊碑

大阪市長 中井光次 書

### 【裏】

昭和二十年三月十三日及全年六月一日の  
 大空襲により郷土防衛の朋友二千五百有  
 余の命を奪う 嗚呼再び繰返すまじき悲  
 嘆(旧字)を銘じ茲に有志相謀り英霊を弔う  
 昭和三十四年六月建之

付属観音講

発起人総代 西川岩次郎

導師 松井賢伍

副 横山友治

## 説 明 文

五十年忌メモリアルプレート (平成六年六月一日)

港区戦災死者慰霊碑

諸行無常 回忌は既に五十年  
 土に帰るか 有縁 無縁  
 弁天三東奉賛会

7 元波除警防団員戦災死者之碑・慰霊之碑



基本情報

所在：港区波除4丁目 町工場街  
住所：大阪府大阪市港区波除4-4  
(JR・市営地下鉄 弁天町駅、市営地下鉄 朝潮橋駅 徒歩15分)  
連絡先：不明  
建立者：波除連合赤十字奉仕団  
建立年：昭和29年8月

碑文

【表】

元波除警防団員戦災死者之碑

【裏】

昭和二十九年八月建立

【側面】

世話人  
波除校下有志  
波除婦人會

【表】

慰霊之碑

【側面】

昭和二十年の大坂空襲にさいし当波除地区において不慮の死をとげられた諸霊に謹んで哀悼の誠を捧げここに慰霊の碑を建立する。

波除連合赤十字奉仕団

8 南無妙法蓮華經 法界供養塔



基本情報

所在：浪速西公園  
住所：大阪府大阪市浪速区浪速西3-10  
(南海電鉄 木津川駅 徒歩5分)  
連絡先：都合により記載せず  
建立者：不明  
建立年：昭和24年4月

碑文

【表】

南無妙法蓮華經 法界供養塔

【裏】

昭和廿四年四月建之

【表】

爲 無縁法界萬霊供養

【側面】

南無阿彌陀佛

説明文

昭和二十年三月十三日夜半大東亞戦争ノ空襲ニヨリ多数ノ死者ヲ出シ引取者不明又不可能ノ屍百十五体急場ノ措置トシテコノ処ニ埋葬約三年後収攬シ火葬ニ附ス。其ノ跡ニ供養塔及ビ地藏尊ヲ祀リ冥福ヲ祈ル

昭和五十二年三月十三日  
三十三回忌供養ス 合掌

9 戦災無縁諸霊菩提



基本情報

所在：玉姫大神 隣  
住所：大阪府大阪市浪速区浪速東3-1-3  
(JR芦原橋駅 徒歩4分)  
連絡先：都合により記載せず  
建立者：不明  
建立年：昭和35年4月

碑文

【表】

為戦災無縁諸霊菩提

【裏】

昭和卅五年四月

世話人  
(個人名)

10 戦災犠牲者慰霊塔



基本情報

所 在 : 崇禅寺  
 住 所 : 大阪府大阪市東淀川区東中島5-27-44  
 (阪急電鉄 崇禅寺駅 徒歩5分)  
 連絡先 : 崇禅寺 06-6322-9309  
 建 立 者 : 慰霊塔…大阪市  
 墓 碑…戦災死者遺族会  
 建 立 年 : 慰霊塔…昭和28年8月15日  
 墓 碑…昭和45年11月

碑 文

【慰霊塔 表】

戦災犠牲者慰霊塔  
 大阪市長 中井光次 書

【慰霊塔 左側面】

大東亜戦争 昭和二十年六月七日罹災

【慰霊塔 右側面】

昭和二十八年八月十五日建之

大阪市會議員 中川富三郎  
 中田亀藏  
 床田仁三郎

【改装墓碑 表】

碑文  
 太平洋戦争の戦火この地にも波及し、昭和二十年六月七日には当墓地を中心とし、一帯二キロメートルにわたり爆撃、焼夷弾による被害甚大周囲一望灰陣と化し、戦災死者五百数十余名此の地に埋葬せらる。昭和二十八年九月有志の切望に依り改装墓碑を建立し、過去帳を当山木堂内陣に安置して各霊位の冥福を祈願す。こゝに終戦二十五周年記念事業として、改修工事を竣工し、永久に残さんとするものである。これにより戦災死者、無縁死者の霊位の追憶思慕を忘れず、冥福安住を共々お祈り下さるよう切望するものであります。

合掌  
 昭和四十五年十一月  
 戦災死者  
 遺族会

【改装墓碑 裏】

役員一同  
 順次不同  
 (氏名)

崇禅寺二十八世現住  
 実参祖学代

11 戦災犠牲者追悼法要



開催概要 (平成23年度)

歳事名 : 戦災犠牲者追悼法要  
 会 場 : 崇禅寺  
 (阪急電鉄 崇禅寺駅 徒歩5分)  
 日 時 : 平成23年6月4日(土) ※例年6月7日前後の休日に開催  
 参列者数 : 約15人  
 連絡先 : 戦争はあかん・東淀川市民のつどい実行委員会

式次第 (平成23年度)

1. 司会挨拶
2. 代表挨拶と来賓紹介
3. 住職読経と参列者焼香
4. 遺族の方々との懇談

概 要

66年前(1945)の6月7日、15日、26日東淀川は3度空襲を受けました。

米軍機B29による無差別爆撃で、啓発小学校や崇禅寺駅も吹っ飛び、多数の戦災死者や負傷者が出、あたり一面、焼け野原となりました。

8月には、広島、長崎への原爆投下と続き、無条件降伏となりました。

平成23年6月4日 戦争はあかん・東淀川市民のつどい  
 実行委員会代表

12 柴島町・浜町戦災犠牲者慰霊塔



基本情報

所在：善教寺  
住所：大阪府大阪市東淀川区柴島1-4-38  
(阪急電鉄 柴島駅 徒歩4分)  
連絡先：善教寺 06-6322-0377  
建立者：不明  
建立年：昭和33年6月

碑文

【表】

柴島町戦災犠牲者慰霊塔  
浜

大阪市長 中井光次 書

【裏】

昭和二十年六月七日及び全年六月二十日、戦災死 昭和三十二年三月十二日 改葬

(故人名)

昭和三十二年六月建立

13 戦死者戦災者慰霊塔



基本情報

所在：正徳寺前 日之出墓地  
住所：大阪府大阪市東淀川区西淡路1-8-26  
(JR東淀川駅 徒歩7分)  
連絡先：都合により記載せず  
建立者：戦死者戦災者慰霊塔建立世話人  
建立年：昭和47年8月

碑文

【表】

戦死者戦災者慰霊塔

【右側面】

戦災死者名簿 順不同  
(故人名)

【左側面】

戦災死者名簿 順不同  
(故人名)

【裏】

昭和四十七年八月吉日建之  
建立世話人  
(個人名)

14 平和地蔵尊 爆撃犠牲者之精霊 千人塚



基本情報

所 在：城北公園淀川堤防上  
 住 所：大阪府大阪市旭区生江3-29-1  
 (市営地下鉄 太子橋今市駅 徒歩25分、市営バス「城北公園前」下車 徒歩1分)  
 連絡先：千人塚慰霊法要協賛会 個人であり記載せず  
 建 立 者：東浦栄二郎  
 建 立 年：昭和55年5月5日

碑 文

<p>【表】</p> <p>千人つか</p> <hr/> <p>【裏】</p> <p>東浦てる建之</p> <hr/> <p>【台座】</p> <p>平和地蔵尊              爆撃犠牲者之精霊              1945年6月7日</p>	<p>【下段】</p> <p>千人塚由来記</p> <p>日本未曾有の大敗戦の昭和二十年六月七日残存せる大阪を壊滅せる大空襲により戦火死者数万人中身元不詳の千数百の遺体を此処に集め疎開家屋の廃材(異体字)を以って茶昆に付す鬼哭啾々たる黒煙天に柱し三日三晩に及ぶ悉く市民の奉仕協力による遺骨は其俣土中にして此処に葬る</p> <p>訴うるに声無き無辜の国民の痛恨の空しく土に埋もれ草に掩れて世に忘れ去られんを憂いて巷間の義人東浦栄二郎氏庭石に唯千人つかと刻して此処に置く</p> <p>進駐軍治下と近畿地建の管理地なるを以ってなり</p> <p>爾未三十有星霜香華絶ゆる事なきも世人この塚の謂れを知らず茲に其の由来を刻しこの地下に眠る無辜無縁の霊位の冥福を祈り国家安泰と軍官専横苛政による国民塗炭の痛困と犠牲の再現を永く阻止し世界人類の和平を祈願する日本国民の総意を世に問うものなり</p> <p>一九八〇年五月五日 後世正亮記</p>
---	---

15 城北公園千人塚慰霊法要



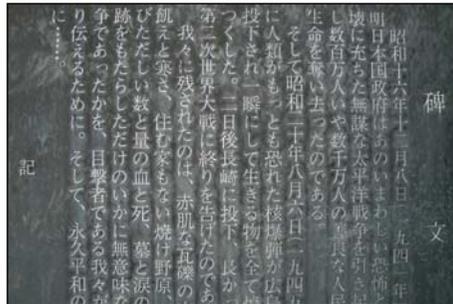
開催概要 (平成23年度)

歳 事 名：城北公園千人塚慰霊法要  
 会 場：常宣寺 (雨天により移動)  
 (市営地下鉄 千林大宮駅 徒歩23分、市営バス「城北公園前」下車 徒歩3分)  
 日 時：平成23年6月7日(火) ※例年6月7日開催  
 参 列 者 数：120人  
 連絡先：千人塚慰霊法要協賛会 個人であり記載せず

式次第 (平成23年度)

1. 開会
2. 黙祷
3. 御導師入場 常宣寺御住職
4. 御読経
5. 会長挨拶 千人塚慰霊法要協賛会 会長
6. 旭区長 挨拶
7. 被災者代表挨拶 御焼香
8. 地元選出議員先生方 御紹介 御焼香
9. 地元選出議員御代表 御挨拶
10. 代表焼香(第二部) 地区自治会 諸団体 経済界代表
11. 各種団体代表 御焼香
12. 一般焼香
13. 高橋芸海先生御紹介
14. 紙芝居
15. 合唱「ふるさと」
16. 閉会

16 平和観音



基本情報

所 在：特別養護老人ホーム 白寿荘敷地内（常宣寺 横）
住 所：大阪府大阪市旭区生江3-27-1
（市営地下鉄 千林大宮駅 徒歩23分、市営バス「城北公園前」下車 徒歩3分）
連 絡 先：都合により記載せず
建 立 者：有志一同
建 立 年：昭和52年11月25日

碑 文

【前】
一九四五年六月七日午前十時十五分
被爆死亡者名 行年
（故人名）
（順不同）

【台座】

鎮魂

碑文

昭和十六年十二月八日（一九四一年）未明日本政府はあのいまわしい恐怖と破壊に充ちた無謀な太平洋戦争を引き起こし数百万人いや数千万人の善良な人民の生命を奪い去ったのである。
そして昭和二十年八月六日（一九四五年）に人類がもっとも恐れた核爆弾が広島に投下され一瞬にして生きるものを全て焼きつくした。二日後長崎に投下、長かった第二次世界大戦に終りを告げたのである。
我々に残されたのは、赤肌な瓦礫の山、飢えと寒さ、住む家もない焼け野原、おびただしい数と量の血と死、墓と涙の爪跡をもたらしただけのいかに無意味な戦争であったかを、目撃者である我々が語り伝えるために。そして、永久平和の為に……。

説 明 文

記

昭和二十年六月七日（一九四五年）午前十時十五分、生江地区の人々の悲劇の日がやってきた。サイパンを飛びたった三百機にのぼるB29アメリカ空軍爆撃機の大阪最後の空襲であった。早朝より敵の来襲を知らせる警報のサイレンが不気味な音を響かせ、初夏の空に鳴りわたる。遠くで爆弾が炸裂するのがドローンと地面を叩くのか、鈍く重い音が足もとから伝わってくる。まもなく雲間に数機の爆音が聞こえてくる。何事もなかったように、白い飛行雲を残し、次から次へと生江の上空を北に向かって飛び去っていく。誰れかが大声で「逃げる…」と叫ぶつかの間、キーンと耳を扶る金属音が頭上より背筋を通し伝わった。その瞬間、ものすごい炸裂と地響が起こる。人々は地面に叩きつけられ声もない。家屋はそのまま空中に舞いあげられ、粉々に飛び散り落ちる。真黒い煙が竜巻のように舞い上がり火の粉が散る。なおも空から容赦なく爆弾が不気味な金属音をたてながら黒く白く光りながら雨の如く落ちてくる。ここかしこで火の手がある。

真っ赤に空を焦がす熱気が突風を呼び、その風の物凄さ、猛り狂う炎の色、白昼を暗黒化にし生江地区を残し、つつむむように周辺は火の海となった。火の粉は地区内に落ちてくる炎と煙に追いつてられ何千人もの人々がぞくぞくと城北公園に逃げてくる。それを待ち受けていたかのように戦闘機数機が黒煙の中より現われ、淀川土堤すれすれに飛び交い、避難してくる人々めがけて機銃弾を浴びせ殺したのである。
ある者は土堤や池の端、木の繁み、あるいは園道にうづまり、頭をぶち抜かれ、足をもぎとられ、腹を抉られ、顔をとばされ、その肉片からしたり落ちる血で大地を染め、乳呑み子から老若男女が水をもとめて這いずりまわり息をたてる者、母と子がしっかりと抱き合い身動きもしない。髪をふりみだし「雲が燃えている」と泣き叫ぶ女の子、恐ろしさにお経を口ずさむ老人、爆弾の雨が音をたてながら木々をゆさぶり、人々に襲いかかる。炎が黒雲を呼び、雨を呼び、地獄絵図が数時間も続いていった。

遺体は常宣寺に運ばれたが、足の踏み場もないくらい本堂にも庭にも並べられ、収容できずにそのままに数日間放置されていた人々もあった。地区内の家々から帰らぬ我が子、父母の名を呼ぶ悲しみの声が幾日も続いた。遺体は淀川土堤に運ばれ、油をぶっかけられ火葬にされ、その煙が夜も昼も休みなく何日も続いたのである。戦争に駆り出され散っていった我々の親兄弟、家を守った母と子の尊い命が奪われていった……。
そして三十三年の歳月が流れ、今我々が生きていることを喜び合い、また戦争を知らない若い世代に何んの意味ももたない戦争という悲劇を繰り返さないための手がかりを我々の手で残さなければならぬ。また我々の先輩が部落解放とすべての人民の解放を呼び、多くの血を流し、闘い続けた運動の歴史を受け継ぎ、平和と人権尊重の精神を守り続けるため、真実を教え、真実を語り、真実を伝え、この惨劇の歴史と、ここに刻みこまれた犠牲者とともに永久に銘記するものである。
一九七七年十一月二十五日

# 17 延命地藏尊



## 基本情報

所 在 : 千林大宮商店街  
住 所 : 大阪府大阪市旭区大宮 2-17-9  
(市営地下鉄 千林大宮駅 徒歩4分)  
連 絡 先 : 個人であり記載せず  
建 立 者 : 地元町会有志  
建 立 年 : 昭和30年頃

## 碑 文

延命地藏尊

ご真言おんかか・かびさまえいそわか



## 経 緯

昭和20年6月7日の大阪大空襲（第3回）の際、この地藏尊近くに1トン爆弾が落とされ、多くの人が犠牲となった。戦後、その供養として延命地藏尊がまつられたといわれている。



18 被爆者慰霊 平和之碑



基本情報

所在：国道2号線から海老江8丁目へ入った住宅街  
住所：大阪府大阪市福島区海老江8-8-30  
(阪神電車 淀川駅 徒歩4分)  
連絡先：個人であり記載せず  
建立者：日赤奉仕団 下二の一町団 (地元町会有志)  
建立年：昭和48年5月

碑文

【表】

被爆者慰霊  
平和之碑

【裏】

昭和四十八年五月吉日  
日赤奉仕団  
下二ノ一町団 建之

【側面】

発起人  
(個人名)

建設委員  
(個人名)

施工

【前】

被爆 昭和二十年六月二十六日

## 19 田辺模擬原爆投下跡地



## 基本情報

所 在：東住吉区田辺1丁目 市営地下鉄 田辺駅より南へ200メートル  
住 所：大阪府大阪市東住吉区田辺1-6-7  
(市営地下鉄 田辺駅 徒歩2分)  
連 絡 先：個人であり記載せず  
建 立 者：個人であり記載せず  
建 立 年：平成13年3月

## 説明文

## 模擬原子爆弾投下跡地

一九四五年七月二十六日九時二十六分  
広島・長崎への原爆投下を想定して  
この田辺の地に模擬原爆が投下され、  
村田繁太郎（当時五十五歳）他六名が  
死亡、多数の方が罹災しました。ここ  
に犠牲者の冥福をお祈りし、戦争のな  
い世界の実現と全人類の共存と繁栄を  
願い、碑を建立します。

二〇〇一年三月吉日  
建立者  
(個人名)

## 20 7・26 田辺の模擬原爆追悼式



## 開催概要（平成23年度）

歳 事 名：7・26 田辺の模擬原爆追悼式  
会 場：模擬原爆投下跡地 前  
(市営地下鉄 田辺駅 徒歩2分)  
日 時：平成23年7月26日(火) ※例年7月26日開催  
参 列 者 数：約80人  
連 絡 先：7・26 田辺の模擬原爆追悼式 実行委員会 個人であり記載せず

## 式次第（平成23年度）

1. 追悼式開始：司会
2. 模擬原爆解説：追悼式実行委員会
3. 追悼式挨拶：模擬原爆体験者（町会長）
4. 黙祷
5. 模擬原爆体験者挨拶：体験者 1名
6. 広島原爆体験者挨拶：体験者 1名
7. 長崎原爆体験者挨拶：体験者 1名
8. 大阪空襲訴訟原告挨拶：体験者 2名
9. 参加学校生徒挨拶：田辺中学、東住吉中学、長吉西中学、我孫子中学、我孫子南中学、長南中学（泉佐野）
10. 模擬原爆の本「パンプキン！模擬原爆の夏」著者挨拶：児童文学者
11. 閉会

## 式 辞（平成23年度）

「田辺模擬原爆」追悼のことは

一九四五年七月二十六日、午前九時二十六分。  
広島・長崎への原爆投下を目的として、この田辺の地に、模擬原爆が落とされ、尊い命が奪われ、又、多数の方が罹災しました。その十一日後に広島、十四日後に長崎に原子爆弾が投下され、人類史上最大の惨劇が引き起こされました。  
東住吉区田辺と広島・長崎に直接つながる「核使用」のためには余りにも用意周到な凄惨で恐ろしい行為は、人間として、どうしても認めることが出来ないものです。  
一あれから六十六年一歴史的にも未曾有の大震災一東日本大震災が発生しました。大震災、大津波とともに起こった「原発事故」は、人類と原子力の共存などあり得ないことを白日の下に晒しました。

この小さな町「田辺」の体験を次ぎの世代へと語り継ぎ戦争のない世界の実現と、全人類の共存と繁栄を願うことが、私達の使命だと考えます。  
ここに犠牲者の冥福をお祈りし、黙祷をささげます。

二〇一一年七月二十六日

## 21 明倫観世音菩薩



### 基本情報

所 在 : 長柄橋南詰  
 住 所 : 大阪府大阪市北区天神橋8-13付近  
 (市営地下鉄・阪急電鉄 天神橋筋六丁目駅 徒歩8分)  
 連絡先 : 正蓮寺 06-6351-2460  
 建立者 : 三輪 勝  
 建立年 : 昭和32年8月14日

### 碑 文

#### 明倫観世音菩薩

昭和二十年六月七日この橋畔において  
 散華されたる空襲犠牲者並に  
 淀川水難犠牲者の冥福を祈るため  
 此處に観世音菩薩を建立して  
 明倫観世音菩薩と稱へ奉る。  
 願くは諸靈安らかに随願往生  
 遂げられんことを。

南無大慈大悲(略字)観世音菩薩  
 昭和三十二年八月十四日  
 三輪 勝 建立  
 魚(略字)森 天心 撰文

旧長江橋弾痕

## 22 空襲慰霊法要



### 開催概要(平成23年度)

歳事名 : 空襲慰霊法要  
 会場 : 長柄橋南詰 明倫観世音菩薩 前  
 (市営地下鉄・阪急電鉄 天神橋筋六丁目駅 徒歩8分)  
 日時 : 平成23年6月7日(火) ※例年6月7日開催  
 参加者数 : 約60名  
 連絡先 : 正蓮寺 06-6351-2460

### 式次第(平成23年度)

なし

### 式 辞(平成23年度)

なし

23 和光地藏尊



基本情報

所 在：和光寺  
住 所：大阪府大阪市西区北堀江3-7-27  
(市営地下鉄 西長堀駅 徒歩4分)  
連絡先：和光寺 06-6531-1360  
建 立 者：和光寺  
建 立 年：昭和44年3月13日

碑 文

和光地藏尊

説 明 文

【表】

序

昭和十六年十二月八日 大東亜戦争が開始され破竹の勢の我方も戦局次第に不利となり 我本土への敵機の空襲も頻々となりたり 特に昭和二十年三月十三日 大阪を襲いたる B29の大編隊の 午後十一時より翌未明に至る迄の波状爆撃は実に凄惨を極め商都大阪の街は全く焦土と化したり 戦火は漸くおさまり 廢墟となりし地上には死屍累々として其の惨状名状すべからず 子は親を求め親は子を探す姿 真にあわれにて目を覆うものあり むなしく百五十有体は遂に無縁となる よって地元有志並びに警防団員の献身的努力により、浪速の名刹和光寺境内にねんごろに之を葬むる

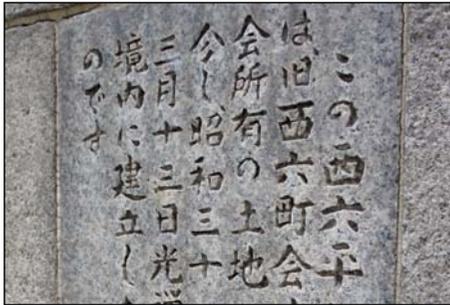
爾来星霜を重ね こゝに二十五回忌を迎えるに当り 地元各団体並びに寺縁関係者発起となり 大法要を営み地下に眠る精霊の冥福を祈念して是に碑を建て祈念とす

合掌

【裏】

昭和四十四年三月十三日 建之  
蓮池山和光寺  
第十八番 順譽誓寛 代

24 西六平和塔



基本情報

所在：新町橋跡 緑地内  
 住所：大阪府大阪市西区新町1  
 （市営地下鉄 西大橋駅 徒歩3分）  
 連絡先：西六福社会館 06-6534-0874  
 建立者：旧西六町会連合会 西六連合会  
 建立年：昭和32年3月13日

碑文

西六平和塔  
 大阪市長 中井光次 書

説明文

【表】

満州事変日華事変  
 大東亜戦争を通し  
 当地区からも多く  
 の人々<sup>原爆</sup>が出征し、  
 国難に殉じました  
 また、昭和二十年三  
 月十三日夜の大空  
 襲では全町が焦土  
 と化したましくも  
 三百余名が焼死  
 しました  
 ここに有志相図つ  
 て一基の塔を建立  
 し  
 英霊幽魂の冥福と  
 世界永遠の平和を  
 祈念します

昭和卅二年三月十三日

旧西六町会連合会  
 西六連合会

【裏】

この西六平和塔  
 は旧西六町会連合  
 会所有の土地を処  
 分し、昭和三十二年  
 三月十三日光禅寺  
 境内に建立したも  
 のです

建立者代表  
 (個人名)

## 25 大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」



## 基本情報

所 在 : ピースおおさか (大阪国際平和センター)  
 住 所 : 大阪府大阪市中央区大阪城 2-1  
 (JR森ノ宮駅 徒歩7分、市営地下鉄 森ノ宮駅 徒歩4分)  
 連絡先 : 06-6947-7208  
 建 立 者 : ピースおおさか (大阪国際平和センター)  
 建 立 年 : 平成17年

## 説明文

「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」(「◎刻の庭」)について

第二次世界大戦末期の大阪空襲により、大阪府では死者1万2620人、行方不明者2173人の被害があったといわれている。[1945(昭和20)年10月大阪府警察局調べ]戦後、遺族を中心とした市民団体や一部の自治体では、大阪空襲死没者の氏名等の収集が行われたが、府内全域をとりまとめた名簿はなかった。

戦後54年にあたる1999(平成11)年には、「大阪戦災障害者・遺族の会」が調査した約6000名分の名簿が(財)大阪国際平和センター(ピースおおさか)に寄託された。

当センターでは、この名簿などを基に、大阪府の委託を受け2002(平成14)年10月から、大阪空襲による死没者の本格的な調査を全国的に行った。

現在9033名の氏名等が判明し、「大阪空襲死没者名簿」を展示している。

これを機会に、この名簿を収納するとともに、大阪空襲で亡くなられた方々を追悼し恒久平和を祈念する「場」の設置を望む声が多方面から寄せられた。

このため、当センターは、「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」の整備事業に執りかかることを決定し、多くの人々の参画を求めるため、広く募金を呼びかけた。

この結果、府民・市民の皆様をはじめご遺族や各種団体から、多くの貴重な浄財が寄せられ、また、各方面の方々のご協力・ご支援により、戦後60年にあたる2005(平成17)年8月に完成をみた。

この「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」には、大阪空襲で亡くなられた方々の「名簿」を収納し、その氏名を刻印した銘板がドーム(高さ3.3m×幅3.1m×奥行き3.1m)の中心に置かれている。この「モニュメント」は、過去の悲惨な戦争から、現在、未来へ向けた新たな恒久平和取り組みを一つの線上のものとして表現するため、古代から伝わる砂という自然な素材をそのまま活かしながら、ガラスと鉄という近代の素材をそれに融合させ制作された。銘板に刻まれたウミガメは「平和のメッセンジャー」を意味し、母子像は「生命の尊さ」を意味する。正面の砂のブロックには戦火によって溶け、変形した鉄製の工具が埋めこまれている。「かつて起こったこと」を時間を超え証明している。またこのスペースには「メインオブジェ」と8つの「音の出るオブジェ」が配置されている。

「メインオブジェ」は、平和を象徴する鳥(当センターのキャラクター)であり、この場全体を静かに見守っている。「音の出るオブジェ」は、8回あった大空襲と同じ数を配置しており、吊るされた個々形の異なる鐘を訪れた人々が鳴らし、様々な音色を奏で、その場に参加し、そこにかかわることによって、平和への感覚を自覚するために配置された。また休息の場として、焼物のテーブルや椅子、水瓶、植物などを配置しているが、これらもひとつひとつが異なった形状、色をしており「生命の多様性」さらにはその「共存性」を表している。これらは、当センターを訪れた人々の安らぎの場となるとともに、大阪空襲による多数の犠牲者への哀悼の誠を捧げ、恒久平和への新たな取り組みが広く発信される場となるように、特に次世代を担う子どもたちへ、戦争の悲惨さと平和の尊さについて語り継ぐための強いメッセージとなるよう、願いを込めてトータルデザインされている。

全体の企画・デザインは当センターのシンボルマーク等を制作された栗津潔氏(環境デザイナー)によるもので、「植木鉢、オブジェ」等については、(財)黒田緑化事業団から寄贈されたものである。

なお、この「場」が子どもからお年寄りまですべての人々に愛され、いつまでも親しまれるよう「愛称」を広く募集し、「◎刻の庭」と名づけられた。

2011(平成23)年8月 (財)大阪国際平和センター(ピースおおさか)

26 1945年の母子像



基本情報

所在：ピースおおさか（大阪国際平和センター）  
住所：大阪府大阪市中央区大阪城2-1  
（JR森ノ宮駅 徒歩7分、市営地下鉄 森ノ宮駅 徒歩4分）  
連絡先：06-6947-7208  
建立者：ピースおおさか（大阪国際平和センター）  
建立年：平成3年

碑文

1945年の母子像

THE STATUE OF MOTHER AND INFANT

IN 1945

BY KIYOSHI AWAZU 1991

作=栗津 潔

経緯

この母子像は、戦争で犠牲になった人々を追悼するとともに、  
戦禍の中を逃げまどう母と子のイメージを基本に  
作製された大阪大空襲犠牲者の追悼モニュメントである。

出典：ピースおおさか ホームページより

27 水呑地藏尊



基本情報

所 在：内久宝寺団地付近  
 住 所：大阪府大阪市中央区内久宝寺町4-1-15  
 （市営地下鉄 堺筋本町駅 徒歩6分）  
 連絡先：水呑地藏講大阪第一番組 個人であり記載せず  
 建 立 者：地元町会有志  
 建 立 年：昭和30年代後半

碑 文

水呑地藏尊

経 緯

昭和20年3月14日の午前2時か3時頃、米軍の空襲により、この一角は火の海と化した。（第1回大阪空襲）  
 内久宝寺四丁目の元鴻池邸跡の広大な空地に東区（現在の中央区）で一番大きなモデル防空壕があり、近隣町会の人々を含めて38人が避難していたが、全員焼死という悲惨な事態となった。

戦前は少し南にあった水呑地藏尊をこの時の焼死者を初め、空襲で亡くなった人々を慰霊するために、防空壕跡の地に移し、永久平和を祈願して、毎年供養を続けている。

出典：水呑地藏講大阪第一番組 平成19年8月23日発行  
 「お地藏さんに見守られて」より

28 戦災無縁諸霊菩提



基本情報

所在：国道43号線 中開交差点付近  
住所：大阪府大阪市西成区南開1-6  
(JR今宮駅 徒歩8分)  
連絡先：不明  
建立者：後援町会連合会世話人、連町会有志一同、世話役一同  
建立年：昭和39年(再建)

碑文

【表】

為戦災無縁諸霊菩提

【側面】

昭和三十九年 再建

【裏】

発起人  
(個人名)  
後援町会連合会世話人  
(個人名)  
連町会有志一同

【柱】

世話役一同

29 慰霊塔



基本情報

所在：文の里公園  
住所：大阪府大阪市阿倍野区文の里3-6  
(市営地下鉄 文の里駅 徒歩1分)  
連絡先：不明  
建立者：文の里遺族厚生会  
建立年：昭和29年5月10日

碑文

【表】

慰霊塔  
大阪市長 中井光次

【裏】

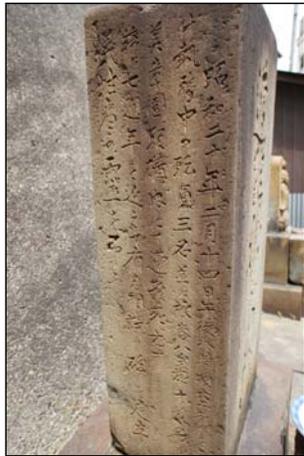
昭和廿九年五月拾日  
文の里遺族厚生会建之

世話人  
(個人名)

説明文

この慰霊塔は文の里地区の英霊を慰めその遺芳を後の世に伝え崇敬感謝平和の祈りの象徴として大阪市最初の被爆地をえらび文の里遺族厚生会及び有志によって建立されたものがあります

30 遭難供養之碑



基本情報

所在：JR美章園駅 階段下  
住所：大阪府大阪市阿倍野区美章園2  
(JR美章園駅 すぐ)  
連絡先：不明  
建立者：国鉄美章園駅国鉄職員一同  
建立年：昭和26年8月24日

碑文

【表】

遭難供養之碑

【右側面】

昭和二六年八月二十四日建之

国鉄美章園駅国鉄職員一同

【左側面】

昭和二十年二月十四日午後八時頃空襲を受け執務中の職員三名並に旅客公衆十数名が美章園駅構内にて遭難死亡す

茲に七週<sup>原文ママ</sup>年を迎えて有志相謀り碑を建立し犠牲者の靈を弔ふ

31 被爆者鎮魂碑



基本情報

所 在 : 左門橋南詰の東側  
 住 所 : 大阪府大阪市西淀川区佃1-24-11  
 (阪神電車 千船駅 徒歩7分)  
 連 絡 先 : 不明  
 建 立 者 : 鎮魂碑建立発起人会  
 建 立 年 : 昭和60年8月24日(再建)

碑 文

【表】

被爆者鎮魂之碑

【左側面】

大東亜戦争時佃地方空襲による犠牲者  
 五十三名の御霊を祀る鎮魂の碑

【裏】

昭和六十年八月二十四日再建

【右側面】

鎮魂碑建立発起人会

説 明 文

被爆者鎮魂碑

大東亜戦争の末期 昭和二十年六月二十六日 アメリカ空軍B29の来襲により 此所にあった地下壕が直撃弾を受け 避難中の付近住民約五十三名の尊い命が奪われました。お近くの篤志家により無縁佛が建立され 昭和三十三年には一般住民の方々のご好意により記念碑と地藏尊が合祀され縁故者と共にそのご冥福をお祈りし続けて参りました。世界平和の礎となられた尊い犠牲者に対して私たちは永遠のお祈りを捧げこの様な悲劇が繰り返えられることの無いよう改めて心に深く誓い合わなければならないものと確信致します。此の度この悲惨な事実を後世に伝え戦争の絶滅を願って 鎮魂碑が再建されることになりました。再建するに当り数多くの人々のご浄財が集められこの様に立派に建立されましたことを 此に銘記致します。合掌

昭和六十年八月二十四日  
 記念碑建立  
 発起人一同

32 柏里子安地藏尊



基本情報

所 在 : 市営柏里住宅4 裏  
 住 所 : 大阪府大阪市西淀川区柏里3-17-4  
 (JR塚本駅 徒歩6分)  
 連絡先 : 不明  
 建立者 : 柏五・柏六世話人一同  
 建立年 : 昭和32年8月

碑 文

子安延命地藏尊

【縁起】

(以下、一部判読不明)

大東亜戦の空襲の際柏里地区被災□□□・・・  
 平和祈念の爲め昭和二十九年□□□・・・  
 尊を奉安せしが戦災死者□□□・・・  
 立す  
 昭和三十二年八月□□□・・・  
 柏里子安延命地藏尊堂

總代  
 世話人  
 (個人名)  
 工匠

説明文

柏里子安延命地藏尊縁起由来

ねがわくば柏の里の幼な子の  
 身をもこゝろもまもるみほとけ

この御本尊を此の地に安置したるは去る昭和二十年六月十五日柏里校下は大空襲の盲爆を受け多数の戦死者を出しこれらの無名のみ霊をこの地にて荼毘にふし当所出身有志の浄財ご喜捨にて此処に堂宇を建立せしものなり本尊は享保三年の作と伝へられ元南区御堂筋に奉仕ありたるを道路拡張のため大阪市に於いて阿倍野斎場に移祀せられたるを戦没者の供養と町内の安全また老幼者の延命息災を祈念するため故石田氏ご努力により此の地に安祀 由緒ある地藏尊にして方位を北に向け柏里子安地藏尊別名北向地藏尊と称する靈験あらたかな地藏尊なり昭和四十六年八月二十五回忌に当り建之柏五・柏六世話人一同

33 堺大空襲を偲び平和を祈念する碑



基本情報

所 在 : 内川河川敷、栄橋・竜神橋間  
 住 所 : 大阪府堺市甲斐町西3  
 (南海電鉄 堺駅 徒歩5分)  
 連絡先 : 堺市 健康福祉局 生活福祉部 健康福祉総務課 072-228-7212 (直通)  
 建立者 : 堺市、堺市戦災死没者遺族会  
 建立年 : 平成21年7月9日

碑 文

【表】

堺大空襲を偲び  
 平和を祈念する碑

【表下】

碑文

先の太平洋戦争において昭和二十年の五次にわたる空襲により千八百七十余柱の堺市民の尊い生命が失われました。なかでも、昭和二十年七月九日夜半から十日にかけての空襲により、一夜にして堺市旧市街地が焼失し、多くの市民が戦災の犠牲になりました。ここに戦争の悲惨さを後世に伝え平和を祈るために「堺大空襲を偲び平和を祈念する碑」を建立します。

平成二十一年七月九日  
 堺市  
 堺市戦災死没者遺族会

34 堺市戦災死没者慰霊祭



開催概要 (平成23年度)

歳事名 : 堺市戦災死没者慰霊祭  
 会場 : 内川河川敷 堺大空襲を偲び平和を祈念する碑 前  
 (南海電鉄 堺駅 徒歩5分)  
 日時 : 平成23年7月9日(土) ※例年7月9日開催  
 参加者数 : 150人  
 連絡先 : 堺市 健康福祉局 生活福祉部 健康福祉総務課 072-228-7212 (直通)

式次第 (平成23年度)

1. 開 式 : 司会者
2. 法 要 : 一光寺 住職
3. 追悼のことば : 堺市戦災死没者遺族会 会長
4. 追悼のことば : 御協賛 市校区顧問
5. 千羽鶴奉納 : 作文朗読 堺市立市小学校 児童代表
6. 代表焼香 : 遺族会会長  
市校区顧問
7. 御礼のことば : 遺族会副会長
8. 法 要 : 一光寺 住職
9. 来賓焼香・閉式

式 辞 (平成23年度)

追悼のことば

本日は、平成二十三年度 堺市戦災死没者慰霊祭にあたり謹んで追悼のことばを申し上げます。先の太平洋戦争の終戦より六十六年が過ぎ去りました。思い起こしますと、昭和二十年七月九日、夜半よりのアメリカ空軍・B29の大編隊が紀伊水道を北上し、堺市旧市街地一帯に油脂焼夷弾、黄燐焼夷弾を雨・霰のごとく投下し、殆どが木造家屋でありました堺市が、その物量爆撃により、甚大な被害を受け、一夜にして焼き尽くされたのであります。その爆撃により、この地におきまして大空襲の被害を受け亡くなられた御霊は千八百七十余柱、言葉で表わすことも出来ないような凄惨な状況で御座いました。私達は衷心より御霊の御冥福をお祈り申し上げる次第で御座います。尚、本年も、お参りくださいました御来賓の方々をはじめ、毎年御協力を賜ります地元の皆様、ならびに御参詣を下さいました皆様方に篤くお礼申し上げます。私どもは戦争被害者の悲しみを風化させてはならないと考えているところで御座います。これから先も戦争のない恒久的な世界の平和をお祈り申し上げまして、追悼のことばとさせていただきます。

平成二十三年七月九日  
 堺市戦災死没者遺族会

35 堺市戦災殉難之地



基本情報

所 在 : 南海電鉄 堺駅 南側  
住 所 : 大阪府堺市堺区戎島町3-22  
(南海電鉄 堺駅 徒歩1分)  
連 絡 先 : 都合により記載せず  
建 立 者 : 堺ライオンズクラブ  
建 立 年 : 昭和60年9月

碑 文

【表】

堺市戦災殉難之地

念ずれば  
花ひらく

苦しいとき  
母がいつも口にしていた  
このことばを  
わたしもいつのころからか  
となえるようになった  
そうしてそのたび  
わたしの花がふしぎと  
ひとつひとつ  
ひらいていった

眞民

【裏】

堺市戦災殉難之地

堺市は昭和二十年七月十日未明 空襲により旧市ことごとく全焼す 多くは旧龍神駅附近及び土居川内での殉難者多数にのぼる 被災四十周年に当り人類の幸福と世界の平和を祈念し坂村眞民氏の「念ずれば花ひらく」の詩文を掲げ名もなき花の多くひらかんことを願う

昭和六十年九月吉辰  
堺ライオンズクラブ

36 堺空襲犠牲者殉難地追悼会



開催概要 (平成23年度)

歳 事 名 堺空襲犠牲者殉難地追悼会  
会 場 堺市戦災殉難之地 前  
(南海電鉄 堺駅 徒歩1分)  
日 時 平成23年7月10日(日) ※例年7月10日開催  
参 列 者 数 103人  
連 絡 先 自由と自治・進歩と革新をめざす堺市民の会

式 次 第 (平成23年度)

1. 追 悼 の 歌 : うたごえサークル「ぐみの木」有志
2. 開 会
3. 黙 と う
4. 主 催 者 挨拶 : 自由と自治・進歩と革新をめざす堺市民の会 (堺市民懇) 代表
5. 堺 空 襲 体 験 談
6. 追 悼 の こと ば
7. 平 和 へ の よ び かけ
8. 献 灯 : 参加者個人
9. 閉 会 : 堺市民懇 代表世話人

式 辞 (平成23年度)

なし

37 戦災無縁地蔵尊



基本情報

所 在 : 大阪府中小企業信用保証協会 南側  
 住 所 : 大阪府堺市堺区住吉橋 1-3-15  
 (南海電鉄 堺駅 徒歩9分)  
 連絡先 : 堺戦災無縁地蔵尊保存会  
 建 立 者 : 有志一同  
 建 立 年 : 昭和29年11月

碑 文

【表】

戦災無縁地蔵

【裏】

岡岡市  
 豊前重一浄信  
 謹刻

【側面】

于昭和廿年七月九日敵機の来襲により瞬時に阿鼻叫喚の巷を現出当所に命終の無慮八百を算すとこゝに遠近親疎の喜捨せる浄財もて謹んで地蔵尊一軀を敬造す願ふところは如上の諸霊の菩提に資しもって久遠の平和を銘じ并せて有縁無縁三界万霊十方至聖同く覚路に登らんことを云爾(略字)

昭和二十九年十一月吉日  
 建立者 有志一同

説 明 文

堺戦災遺跡 戦争の傷跡  
 (戦災無縁地蔵尊)

1945年(昭和20年)、日本は戦争の敗色が濃くなり、全国の主要都市の空襲はいよいよ激しくなりました。堺市も、3月13日、6月15日、26日、7月10日、8月10日の5次のわたって空襲をうけて廃墟となりました。なかでも7月10日未明の第4次空襲は、当時の市街地の大半が焼失し、3千人にのぼる人々が死傷するという大きな被害があったため、堺大空襲と呼ばれています。

その時の被災地のなかでも、このあたり一帯は最も凄惨な極めた地域で、焼夷弾による炎と軍需工場から吹き上がる黒煙に包まれ、逃げ場を失った多くの人たちが悲惨な最期を遂げました。

戦後もなく、地元の有志の方々により被災者の供養がなされ、さらに1945(昭和29)年には、保存会により地蔵が建立されました。

堺市では、二度と戦争を繰り返さないことを祈念して、ここに銘板を設置するものです。

1998(平成10)年 堺市

38 堺戦災無縁地蔵尊慰霊祭



開催概要 (平成23年度)

歳事名 : 堺戦災無縁地蔵尊慰霊祭  
 会場 : 戦災無縁地蔵尊  
 (南海電鉄 堺駅 徒歩9分)  
 日時 : 平成23年7月9日(土) ※例年7月9日開催  
 参加者数 : 約60人  
 連絡先 : 堺戦災無縁地蔵尊保存会

式次第 (平成23年度)

1. 導師入場
2. 慰霊の辞 : 堺戦災無縁地蔵尊保存会 会長
3. 祭主 焼香
4. 来賓 焼香
5. 一般 焼香

式 辞 (平成23年度)

慰霊の辞

本日、第六十六回、堺戦災無縁地蔵慰霊祭に当り、不幸にも戦災に遇われた犠牲の英霊八百余柱に慰霊法要を執り行う事が出来た事は、皆様方のご尽力と厚く感謝申し上げます。

保存会を代表と致しまして、ご霊前に敬仰の至誠を捧げたく存じ上げます。

思えば、昭和二十年七月九日夜半より突如、堺方に来襲した米機による空襲は、余りにも無残この上なく一瞬のうちに市民を火えんに包み、当時、竜神駅に停車していた三両の急行列車の乗客を含めた住民八百余名の尊い生命を奪い去ったのであります。

猛火は竜巻をおこし、あたり一面は火の海と化し灼熱地獄の中逃げ場を失い無残にも命を絶たれたのであります。この上ない悲惨な出来事とございました。ほとんど全滅状態で生き残った事能が不思議な位残こくな被害でございました。

一夜明け、有様はあたり一面焼土化し、焼死体が散乱し、まるで地獄絵図の様でございました。見るに見兼ねた、有縁無縁地元の生存者、有志各位が相談られて、腐乱する遺体を火葬し、その後、八百余名の御遺骨の上に堺戦災無縁地蔵尊を建立し、保存会を結成いたしました。それ以来六十六年間供養なされてきた次第でございます。本日皆様の有難いご協賛をお受けし諸霊も定めし地の下で慰労な法要にあわれ安らかにご鎮魂なされていることでございます。

市民を巻き込んだ戦争と云う悲惨な事実がありました事を、風化されることなく後世に語り継ぐ責務と自負致して居ります。現在、平和な市民生活は尊い命の犠牲に成るものでございます。出来ませう事なら、この場所を戦争傷跡として永久保存出来ませう事、衷心より願う所存でございます。

これを以ちまして、慰霊の辞とさせていただきます。

合掌  
 平成二十三年七月九日  
 堺戦災無縁地蔵尊保存会 会長

## 39 堺市戦没者・戦災物故者追悼式



※写真提供 堺市

## 開催概要 (平成23年度)

歳事名：堺市戦没者・戦災物故者追悼式

会場：堺市民会館 大ホール

(南海電鉄 堺東駅 徒歩10分)

日時：平成23年10月20日(木) ※例年10月中旬頃開催

参加者数：800人

連絡先：堺市 健康福祉局 生活福祉部 健康福祉総務課 072-228-7212 (直通)

## 式次第 (平成23年度)

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼の辞：堺市長 竹山修身、堺市遺族会代表、堺市戦災死没者遺族会代表、堺市議会議長
5. 献花：堺市長、遺族代表、来賓
6. 閉会の辞

## 式 辞 (平成23年度)

## 追悼の辞

本日ここに、多数のご遺族、ご来賓の皆様をお迎えして、平成23年度堺市戦没者・戦災物故者追悼式を謹んで挙行了いたします。

苛烈を極めた先の大戦では、多くの方が遠く離れた異郷の地で、祖国の平和と発展を想い、そして何よりも残された家族を案じながらも、尊い犠牲となられました。また、本市においても、数次にわたる空襲により、多くの市民の皆様が犠牲となられたところです。戦禍に倒れた方々のご無念、ご遺族の悲嘆と、これまで乗り越えてこられた苦難を、ここにあらためて深く胸に刻み、心より哀悼の意を捧げます。

戦後66年の歳月が過ぎましたが、今日の堺市が、幾多の災難を乗り越え、平和と発展の道を歩むことができたのも、市民の皆様のためご努力の賜であると同時に、先の大戦で命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れてはならないと思います。

本年3月の東日本大震災、そしてそれに伴う原子力発電所の事故を、私たちは目の当たりにいたしました。街が完全に崩壊し、今も多くのご遺体の確認すらままならない有様は、大空襲、あるいは、原爆投下されたヒロシマ、ナガサキを想起させるものでした。

戦争と自然災害、その原因は大きく異なりますが、失った命を忘れないこと、犠牲から学び、活かすことが、残された者の責務であることには変わりはありません。私たちは、これからも、命の尊さ、そして戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に向けて全力を尽くすことを、改めてお誓い申し上げます。

結びにあたり、戦没者並びに戦災物故者各位の御霊の安らかならんことを、そしてご遺族の皆様のご今後のご平安とご健勝をお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

平成23年10月20日

堺市長 竹山 修身

40 熊野学区 戦死・戦災死者追悼之碑



基本情報

所 在：超善寺  
住 所：大阪府堺市堺区熊野町東5-1-18  
(南海電鉄 堺駅 徒歩5分)  
連 絡 先：超善寺 072-232-2671  
建 立 者：有志一同  
建 立 年：昭和32年5月

碑 文

【表】

熊野学区 戦死戦災者追悼之碑  
堺市長 河盛安之介 謹書

【裏】

發起人  
戦災十三周年忌法要記念建之  
(個人名)  
昭和三十二年五月

41 堺市平和塔



基本情報

所 在：大仙公園  
 住 所：大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2-204  
 （JR百舌鳥駅 徒歩5分）  
 連絡先：堺市 健康福祉局 生活福祉部 健康福祉総務課 072-228-7212（直通）  
 建 立 者：堺市  
 建 立 年：昭和46年6月

※一般戦災死没者を含む

碑 文

なし

経 緯

世界恒久の平和は、人類共通の願いです。  
 私たちは太平洋戦争の尊い犠牲において、平和希求を全国的な合意といたしました。

そうして、戦後25年有余を経た現在焦土の中から立ちあがった日本の国は、産業経済の高度成長もめざましく躍進をつづけております。

わたくしたちの堺のまちは、このたくましい息吹の中で、今や阪神経済圏の一翼をになって国際的に雄飛する百万都市建設の理想にむかって、日進月歩の発展をつづけています。

それにつけても、私どもは今日の平和と繁栄のかけに多くの戦争犠牲者のあったことを忘れ去ることができません。

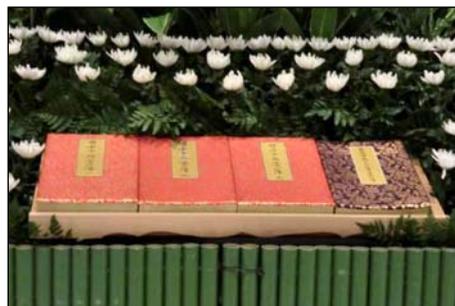
（中略）

今回堺市が、多年の市民の渴望にこたえて、大仙公園内の一角に聖地をえらんで、世界の永遠の平和を念望し、郷土の戦争犠牲者の霊名を念誦して、堺市平和塔の建設に着手せられました。即ち、地上60.5mに及ぶ市章をかたどった三角柱の立塔と直径7mの円形の礼拝堂を主体として、周囲の環境と調和を保ち近代的な感覚を鉄筋コンクリート造りにもりあげて今年6月にその竣工を期せられています。

（以下略）

出典：堺市平和塔建設募金趣意書（昭和46年4月）  
 ※一部抜粋

## 42 豊中市戦没者並びに空爆犠牲者追悼式



※写真提供 豊中市

## 開催概要 (平成23年度)

歳事名：豊中市戦没者並びに空爆犠牲者追悼式  
 会場：とよなか男女共同参画推進センター すてっぷホール  
 (阪急電鉄 豊中駅 徒歩1分)  
 日時：平成23年10月1日(土) ※例年10月1日開催予定  
 参列者数：148人  
 連絡先：豊中市 健康福祉部 地域福祉室 06-6858-2525 (代表)

## 式次第 (平成23年度)

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 市長式辞
5. 追悼の辞
6. 来賓紹介
7. 献花
8. 閉式の辞

## 式辞 (平成23年度)

本日、ここに多くの遺族、並びにご来賓の皆様のご参列を賜り、豊中市戦没者並びに空爆犠牲者追悼式を挙行するにあたり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

まず初めに、三月の東日本大震災に続き、九月には日本列島全体が台風による災害に見舞われました。災害で犠牲となられた方々に対してご冥福をお祈りするとともに、今なお不自由な生活を余儀なくされている被災者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

さて、本年は戦後六十六年目の年であり、本式典も六十回目を迎えることとなりました。

先の大戦では、多くの尊い生命が失われましたが、亡くなられたひとり一人のお気持ちを思う時、言い尽くせぬ深い悲しみが込みあげてまいります。

ご遺族の皆様におかれましては、かけがえのない最愛の方々を失われ、幾多の苦難を乗り越え、今日を迎えられた長年のご労苦に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

今日、わが国が平和と豊かさを享受することができておりますのも、多くの尊い犠牲と、ご遺族をはじめとする皆様の平和を求める思いの上に成り立っていることを、決して忘れてはなりません。

世界では、今なお紛争やテロ行為が続いている地域もございますが、戦争の悲劇を知らずに育った世代が国民の大半をしめるわが国では、戦没者のご遺志を受け継ぎ、今後とも戦争の悲惨さと平和の尊さを、次世代の子どもたちへと語り継いでいくことは重要な課題です。

本市は昭和五十八年に「非核平和都市宣言」を行い、さらに昨年三月には非核平和に取り組む組織である「平和市長会議」に加盟いたしました。その精神をふまえ、核兵器の廃絶や戦争の悲惨さを広く訴えるとともに非核平和意識を高めるために、パネル展や平和標語の募集を行うなど、市民の皆様とともに、様々な啓発活動を展開しているところでございます。

今後とも、恒久平和の実現に向け、全力を尽くして参りますので、皆様にも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、御霊の安らかなるご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念致します。

平成二十三年 十月 一日 豊中市長 浅利 敬一郎

43 大阪市戦災犠牲者慰霊塔



基本情報

所 在：大阪府設服部霊園  
 住 所：大阪府豊中市広田町1-1  
 (北大阪急行電鉄 緑地公園駅 徒歩25分、阪急電鉄 曾根駅 徒歩30分  
 ※両駅より無料送迎バスあり)  
 連絡先：大阪府 環境局 斎場霊園担当 06-6630-3135 (直通)  
 建 立 者：大阪市  
 建 立 年：昭和33年9月

碑 文

慰霊塔

説 明 文

慰霊塔記

太平洋戦争の末期において大阪市  
 内は大小二十数回にわたり焼い弾爆  
 弾等による空襲をうけました

戦災地域は主に都心から臨港地帯  
 にかけて市域の約三分の一に達し被  
 災者総数百十万余人うち死者は一万  
 人余に上りました

昭和二十三年本市は当時校庭や公  
 園の片すみに仮埋葬された遺体の改  
 葬を行い無縁の遺骨二千八百七十体  
 をここ服部霊園に合葬しましたがこ  
 のたびこの塔を建立し大阪全市の戦  
 災死者の霊を弔うこととしました

昭和三十三年九月建立  
 大阪市

44 三国航空機材戦災死者慰霊碑



基本情報

所在：三国金属工業株式会社 敷地内  
 住所：大阪府豊中市豊南町西4-7-20  
 (阪急電鉄 庄内駅 徒歩10分)  
 連絡先：三国金属工業株式会社 総務部 06-6332-0251  
 建立年：昭和32年

碑文

昭和二十年六月七日

戦災者慰霊碑



45 憶念



基本情報

所在地：豊中墓地  
住所：大阪府豊中市岡上ノ町4-5  
(阪急電鉄 豊中駅 徒歩6分)  
連絡先：不明  
建立者：旧豊中中学校二十回生  
建立年：昭和49年6月2日

碑文

憶念

説明文

(故人名)

明記不忘、我が師、我が友、  
時に昭和二十年六月七日午前十一時  
三十分頃、三國航空機株式会社に  
学徒動員中、米軍機の爆撃を  
受け、あたら散華、共に死す  
べき条件のもと、今日を生きて  
いのちの不思議をあらためて思う  
君の無言の願は亦、私の願でもある。

昭和四十九年六月二日  
旧豊中中学校二十回生建立

46 てしまの塔



基本情報

所 在：豊島公園  
 住 所：大阪府豊中市曾根南町1  
 (阪急電鉄 曾根駅 徒歩7分)  
 連絡先：豊中市 健康福祉部 地域福祉室 06-6858-2220 (直通)  
 建 立 者：豊中市  
 建 立 年：昭和43年3月20日

碑 文

てしまの塔

われわれは 祖国のために 尊い  
 生命をささげた 戦没者ならびに戦災  
 死者の霊を慰め かつ そのめいふ  
 くを祈るため ここに市民の儀表と  
 して てしまの塔 を建立し 諸霊  
 の遺徳をたたえ あわせて人類恒久  
 の平和を祈る

昭和43年3月20日  
 豊中市  
 題字 大阪府知事 左藤義詮

説 明 文

てしまの塔

この「てしまの塔」は、戦争による犠牲者を偲び、そのご冥福を祈ると共に、人類の恒久平和を願って、昭和四十三年（一九六八年）三月二十日に建立したものである。

過去の戦争では多くの人びとが、尊い命を失われました。特に第二次世界大戦では戦地に赴き亡くなられた人、空爆により亡くなられた人など、全国で三百万人を超える人びとが亡くなられました。

豊中市は、地球上からすべての争いがなくなり、全世界の人びとが安心して暮らせる社会の実現を願っております。この「てしまの塔」の願いが一日も早く実現することを望んでやみません。

豊中市

「てしまの塔」の名称について

明治維新当時、廃藩置県後村々の行政機構が改革され教次にわたる行政区画の編成替えなどが行われ、明治22年(1889年)4月、地方自治制が開かれ摂津国豊島郡とよばれ、このとき豊島郡の中央に位置するところから豊中の地名が生れたといわれます。

またこの豊島(てしま)の名は遠く和銅5年(712年)大万呂が撰上した古事記中巻からすでに文献にみられております。

このように豊中にとっては最もゆかりの深い「てしま」は現在もお市域内に残り、この塔の建立される地も、豊島、中豊島として親しまれております。

47 慰霊碑



基本情報

所在：二軒家公園  
住所：大阪府豊中市豊南町南4-3  
(阪急電鉄 庄内駅・三国駅 徒歩15分)  
連絡先：都合により記載せず  
管理：豊南校区自治会連合会、豊南校区福祉委員会  
建立年：昭和55年10月

碑文

【表】

慰霊碑  
大阪府知事 岸昌書

【右側面】

豊南校区自治会連合会

【左側面】

昭和五十五年十月建之

【裏】

この地区に在住又は縁故者の  
昭和20年6月7日の空爆犠牲者170余柱  
戦歿英霊  
水難、交通事故等の遭難者  
の精霊の安らかに鎮まりますことをねがって

## 48 高槻市戦没者追悼式



## 開催概要（平成23年度）

歳事名：高槻市戦没者追悼式 ※一般戦災死死者を含む

会場：現代劇場 文化ホール3階  
（阪急電鉄 高槻市駅 徒歩5分）

日時：平成23年11月9日（水） ※例年11月第2水曜日開催

参加者数：196人

連絡先：高槻市 保健福祉部 保健福祉総務課 072-674-7162（直通）

## 式次第（平成23年度）

1. 開式の辞：副市長
2. 国歌斉唱：一同起立
3. 黙とう：一同起立
4. 式辞：市長
5. 来賓追悼の辞：市議会議長、府知事職務代理者（副知事）、府遺族連合会会長
6. 追悼電報披露：○電報読上げ 府議会議長、市長会長、市議会議長会長  
○芳名のみ14名（近隣市 市長及び各市議会議長）
7. 献花：市長、来賓、遺族（参加者全員）
8. 遺族代表謝辞：市遺族会会長
9. 閉会の辞：保健福祉部長

## 式辞（平成23年度）

本日ここに、ご遺族をはじめ関係各位のご参列のもとに、第59回戦没者追悼式を執り行うにあたり、35万7千人の市民を代表して、戦没者の御霊に対しまして、謹んで追悼の誠を捧げますとともに、ご遺族の皆様方に心から哀悼の意を表します。

幾多の尊き命が失われた先の大戦から66年の歳月が過ぎ去りました。

今日の我が国の繁栄があるのは、祖国の存亡を憂い、国民の安泰と故郷の幸せを願いつつ戦場に散り、心ならずも戦禍に倒れられた方々の犠牲の上に築かれているものであることを私たちは、決して忘れてはなりません。

また、最愛の肉親を失われ深い悲しみのなかで、苦難の途を乗り越えてこられたご遺族の方々のご努力に改めて敬意と感謝を表します。

今、世界に目を転じますと、地域紛争やテロが続くなか多くの人命が失われており、また、本年に入ってもアフリカ・リビアの内戦やタイ・カンボジアの紛争など、恒久平和への実現は以前よりことを痛感いたしております。

私たちは、今一度平和の大切さとその意義をしっかりと考えることが必要であり、未来に向かい大きな可能性を秘めた子どもたちの夢や希望を奪うようなことが、二度とあってはならないと思いを強くしております。

本年3月11日に発生した東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所等が大きな被害を受け、わが国は再び、核の脅威にさらされました。

今も多くの人が、仮設住宅や避難所、故郷を離れた仮の住まいで不自由な生活を余儀なくされ、不安な毎日を送られています。本市においては、義援金活動や消防車両の提供、被災地支援活動等復興の支援を行っております。

私自身、岩手県の被災地を訪れ、ボランティア活動を通して、被災の状況を目のあたりにし、終戦直後の苦難を彷彿とさせ、胸がしめつけられる思いがいたしました。

しかしながら、現代に生きる私たちは、戦禍に亡くなられた多くの方々の思いや戦後幾多の困難を乗り越えて今の繁栄を築かれた先人、そして本日ご来場いただきましたご遺族の方々のご苦労に報いるためにも、この未曾有の困難にも立ち止まることは許されません。

高槻市は、これからもさまざまな活動を、教育を通して、平和を愛する文化都市として、未来に責任を持ち、平和を願う心を持ち続け、かけがえのない命を捧げられた戦没者の方々の平和への願いを無にすることなく、戦争の悲惨さや平和の尊さ、生命の尊さを語り継いで参りますことをここにお願い申し上げます。

最後になりましたが、戦没者の御霊が安らかなることを御祈念申し上げると共に、ご参列の皆様方の御多幸と御健勝を心からお祈り申し上げまして、本日の追悼式の式辞とさせていただきます。

平成23年11月9日  
高槻市長 濱田 剛史

# 49 東大阪市戦没者慰霊塔



## 基本情報

所在 : 八戸ノ里公園  
 住所 : 大阪府東大阪市中小阪4-7  
 (近鉄電車 八戸ノ里駅 徒歩14分)  
 連絡先 : 東大阪市 福祉部 生活福祉課 06-4309-3182 (直通)  
 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市遺族会事務局  
 06-6789-7202 (社会福祉協議会総務課)  
 建立者 : 布施市戦没者慰霊塔建設推進委員会  
 建立年 : 昭和38年8月2日

## 碑文

### 【建物裏手】

戦没者慰霊塔

### 【建物入口前】

東大阪市戦没者慰霊塔

## 説明文

この慰霊塔は祖国のために  
 生命をささげた戦没者並びに  
 戦災死者の霊を慰めかつその  
 めいふくを祈るためひろく浄  
 財の寄贈によりて建てられた  
 ものである  
 われわれは諸霊のみまえにお  
 いて あやまちなく恒久の平  
 和を祈願するものである

昭和三十八年八月二日  
 布施市戦没者慰霊塔建設推進委員会  
 会長 上野義雄

50 守口市戦没者追悼式



※写真提供 守口市

開催概要 (平成23年度)

歳事名：守口市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む  
 会場：守口文化センター エナジーホール  
 (京阪電鉄 守口市駅 徒歩3分)  
 日時：平成23年10月25日(火) ※例年10月下旬開催  
 参加者数：140人  
 連絡先：守口市 福祉部 総務課 06-6992-1221 (代表)

式次第 (平成23年度)

1. 開式のことば：守口市福祉部長
2. 霊名簿安置
3. 国歌斉唱
4. 黙とう
5. 式辞：守口市長 西端勝樹
6. 追悼の辞：守口市議会議長、大阪府知事、衆議院議員、大阪府遺族連合会、市遺族会会長
7. 献花：市長、来賓、遺族代表
8. 霊名簿返納
9. 閉会のことば：福祉部長 橋本素男

式辞 (平成23年度)

追悼の辞

本日ここに、守口市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦没者の御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦が終わり告げてから、六十六年の歳月が過ぎました。国内各地はもとより、祖国を遠く離れた異郷の地において、家族への強い思いを抱きつつ、またわが国の行く末を案じながら慄られました皆様の無念、如何ばかりかと痛恨の情、胸に迫ってまいります。

現在、私たちが享受している平和と繁栄は、あなたがた戦没者の皆様の尊い犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

また、本年、わが国では、東日本大震災をはじめ、台風の影響により、多くの人命が犠牲となりました。

これらの災害の犠牲となられました方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、被災地の方々が1日も早く復興を遂げられますことを切に願ってやみません。

さて、今日の世界に目を転じますと、中東における長期独裁政権の崩壊など、一定の民主化の動きが表われているところがございますが、未だ絶えることのない民族間の対立や頻発するテロ行為、また、核兵器の脅威など深刻な課題が山積しており、世界平和への道程は未だ遠いと言わざるを得ません。

我々は、先の大戦で学びとった多くの教訓を改めて深く心に刻み、次代を担う若い世代に、命の尊さと平和の大切さを伝えるとともに、総ての人々が手を携え、共に知恵を絞り、世界の平和に貢献することが、後に続く私たちの使命であると確信いたしております。

私は、一人ひとりの人権が尊重され、健康でいきいきと安全・安心に暮らせる守口市を築きあげるため、全力を尽くす決意を新たにいたしますとともに、ご霊前に頼ずき、心からご冥福をお祈りし、ご遺族様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、追悼の言葉といたします。

平成23年10月25日  
 守口市長 西端 勝樹